

# WEB制作スキーム

WEB制作を行う際、以下のスキームをたどってHPが作られていきます。

- 1.企画・構成
- 2.ワイヤーフレーム作成
- 3.デザイン起こし
- 4.コーディング
- (5.wordpressテンプレート化)

## 1.企画・構成

実際に制作するHPの内容を具体的に決めていきます。

《サイトの目的》

コンバージョンというサイトのゴール設定をします。

《コンセプト・サイトマップ》

目的に沿って、サイトのコンセプト・必要なページを決めます。

《デザイン》

レイアウトや色彩など、WEBデザインする上での決まりを作ります。

《必要な機能》

会員機能・ブログ機能など、目的を達成するために必要となる機能を挙げます。

## 2.ワイヤーフレーム作成

デザインや機能を決めたところで、実際にデザインに落とし込んでいきます。

この際、いくつか決まりがあるので覚えておきましょう。

《作成方法》

- ・手書き
- ・CacooなどのWEBサービス
- ・WEBデザインと同様のツール

《サイズ》

基本的には960px～980pxでのサイト作成が一般的です。

⇒HP、タブレット、スマホで見た際にちょうど良いサイズになります。

### 《イメージ画像》

用意できる場合は、なるべく実際と同じような色合いの画像を挿入します。

画像内容が決まっていない場合は、ダミー画像を挿入します。

なお、ダミー画像はWEB上で簡単に生成できます。<http://placeholder.jp/>

### 《文章》

こちらもなるべく実際のイメージと同じフォント・サイズ・色を指定しましょう。

文章の内容までは詳しく載せる必要は、この段階ではありません。

### 《出来ると良いコト》

この段階にて「なぜこのレイアウトなのか?」「なぜこのフォントなのか?」「なぜこの色なのか?」を明記することで、より明確なイメージを作ることが出来ます。

## 3.WEBデザイン

ワイヤーフレームを元に内容を精査し、実際にHPとして公開するデザインを作っていきます。

ワイヤーフレーム作成時に、色合いや具体的な内容まで決めている場合は特に問題ありません。

しかし、ここでは細かい画像・フォント・その他素材の調整を行っていきますので、次のコーディングがしやすいように意識してデザインをしましょう。

### 《使うツール》

- ・ Adobe Photoshop（推奨）
- ・ Adobe Illustrator
- ・ Adobe Fireworks

### 《注意事項》

・ イメージ画像を用意する際、Google画像検索などの画像を使用するのはNGです。必ずWEB画像素材サイトなどから探してきましょう。

「WEBデザイン用フリー素材まとめのまとめ」

<http://matome.naver.jp/odai/2129430369831636001>

「これが全部無料なの？フリー写真素材サイトまとめ15選 | 株式会社LIG」

<http://liginc.co.jp/web/design/material/36659>

## 4.コーディング

デザインが完成したら、基本的にはhtmlとcssを使ってコーディングを行います。

《コーディングの流れ》

- 1.デザインファイルから「画像として切り抜くモノ」と、「cssで作ってしまう部分」を決定
- 2.画像の切り抜きを行い、ファイルにまとめる
- 3.htmlとcssを使い、コーディングする
- 4.必要に応じて、javascript・jQueryなどで機能を実装する

## 5.wordpressテンプレート化

コーディングが完成したら、htmlページとしては完成です。

しかし、現在の主流としてwordpressなどのフレームワークに流し込み、サイト内の更新やプラグインによる機能実装を簡単にできるようになってきました。  
必要に応じて、htmlファイルをフレームワークの形に合わせていきましょう。

《wordpressの場合》

- ・.html⇒.phpになります
- ・wp-content/themes/内に独自のテンプレートフォルダを用意します
- ・まずは、TOPページを「heder.php」「index.php」「sidebar.php」「footer.php」にわけましょう。
- ・その他必要なページとして、固定ページテンプレート「page.php」、記事詳細ページ「single.php」などがあります。
- ・独自のタグは「wordpress codex」を見て確認します。

<http://wpdocs.sourceforge.jp/>